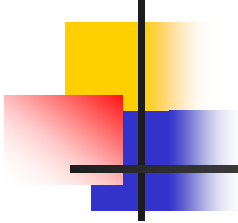


大学における輸出管理

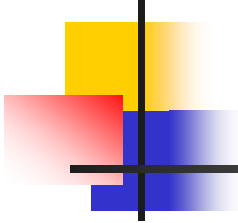
同志社大学工学部の現状を踏まえた提案

同志社大学 ビジネス研究科 佐伯崇



概要

- 大学における輸出管理の現状について、現場の教員と研究者への認識度の調査を踏まえて、発表を行う
- 輸出管理は多くの大学でまだ始まったばかりであるが、大学でスムーズに輸出管理を導入する手法を探るため、同志社大学工学部および生命医科学部の教員、研究者にアンケート調査を行った
- 今回の発表では、大学で輸出管理を行う際にその出発点となる手法の提言を行い、具体的な手法として、ITシステムによる管理の可能性を検討する



研究の背景

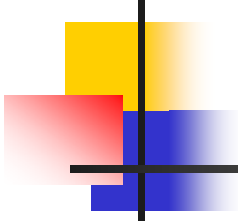
- 輸出管理に対する興味がスタート

日本の多くの企業では、輸出管理は常識

しかし、セキュリティーは弱い部分が狙われる為、
それ以外の組織はどうなのか？

→ 工学部出身として輸出管理の必要性を認識

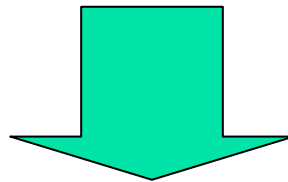
- 大学での輸出管理の強化が求められる状況



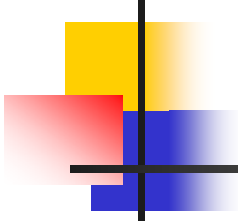
当大学で輸出管理を実施するなら？

- 実際の組織へ輸出管理を導入する場合、
現場の認識状況に応じた適切な手法がある

そのため、同志社大学工学部、生命医科学部の
研究者へ配布→郵送回収でアンケート調査を実施



その結果から最適な手法を検討・提案する



過去に実施された大学への調査

- 吉田 匠 氏

東北大学 産学官連携推進本部

平成20年3月 「外為法等への対応方法」

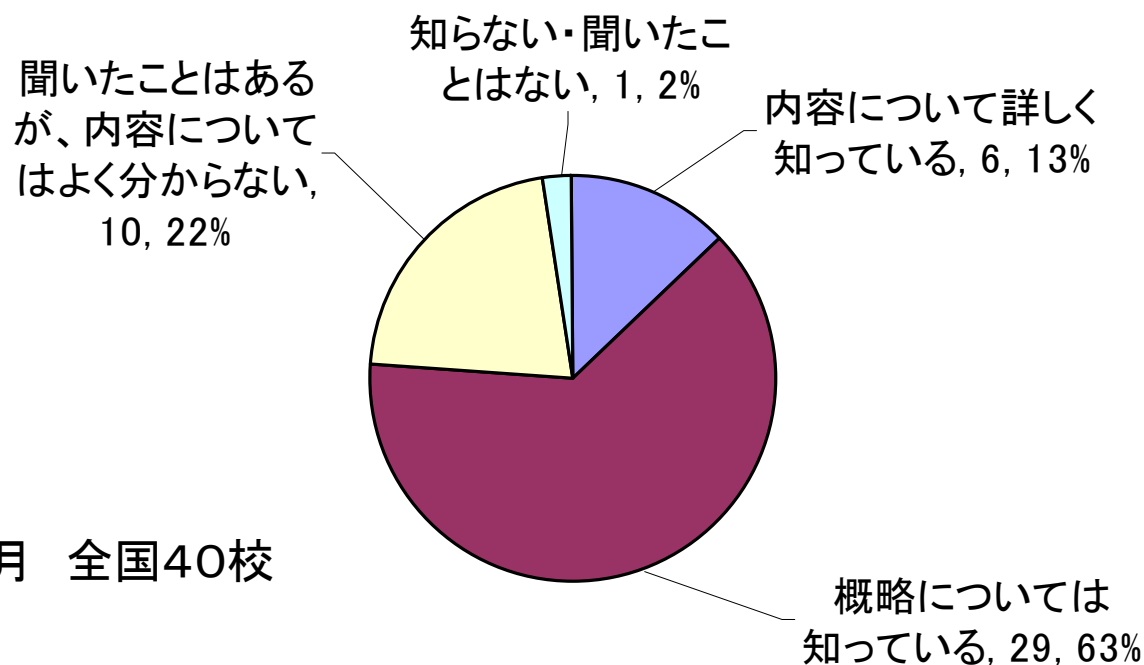
- CISTEC Journal 2009. 1 No.118

「大学における安全保障輸出管理について
のアンケート調査」

それぞれ大学の輸出管理についての調査報告がある

大学単位での調査結果

外為法に基づく輸出管理とは何かを知っていましたか？



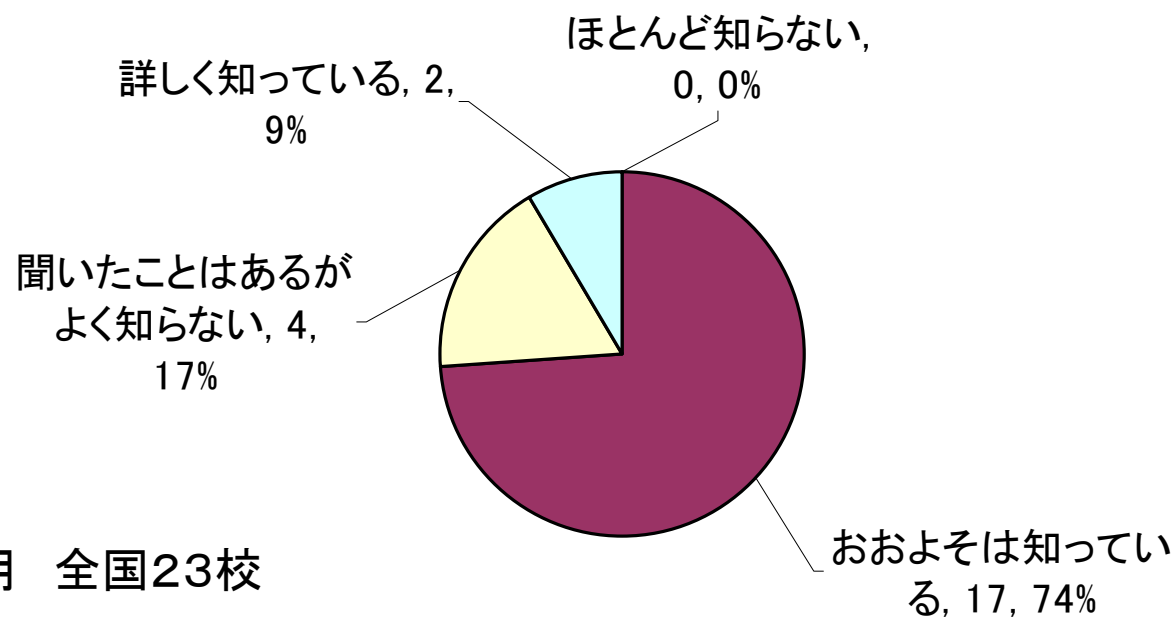
調査実施

平成19年8月 全国40校

「外為法等への対応方法」平成20年3月 より作成

大学単位での調査結果

外為法に基づく安全保障輸出管理の概要をご存じですか？

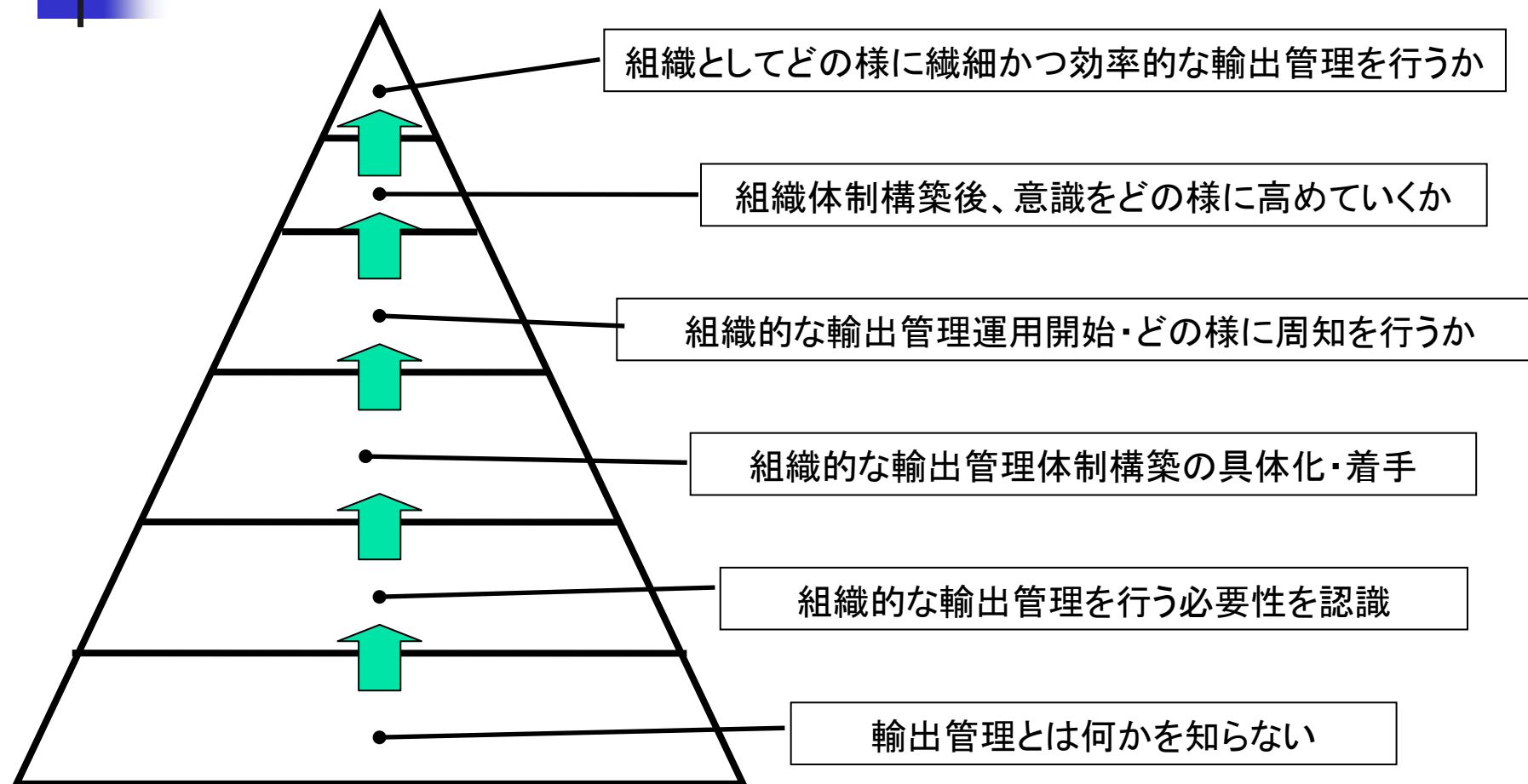


調査実施

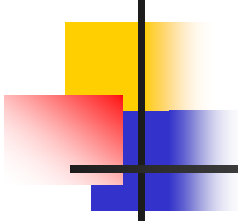
平成20年11月 全国23校

「CISTEC Journal No.118 大学におけるアンケート調査」
平成21年1月 より作成

認識階層と手法について

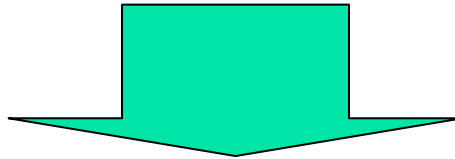


「外為法等への対応方法」平成20年3月 より作成

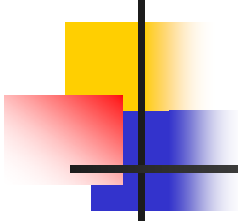


当大学での調査結果

- 輸出管理についての通達があったと回答
- 面倒が増えるのではという考えは強い
- 自分の研究について該非が不明な場合が多い

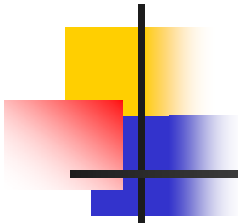


- 「輸出管理とは何か」 or
「組織的な輸出管理を行う必要性を認識」
からスタートする必要がある



提案

- まずは認識。 輸出管理について知ってもらう
 - 研究者のプラスになることを強調
 - 輸出管理は倫理感、道德の問題
 - 必要以上に萎縮する必要はない
- 研究者に面倒を増やさないための
管理業務支援システムの提案
 - Webによる情報提供、データベース管理を提供

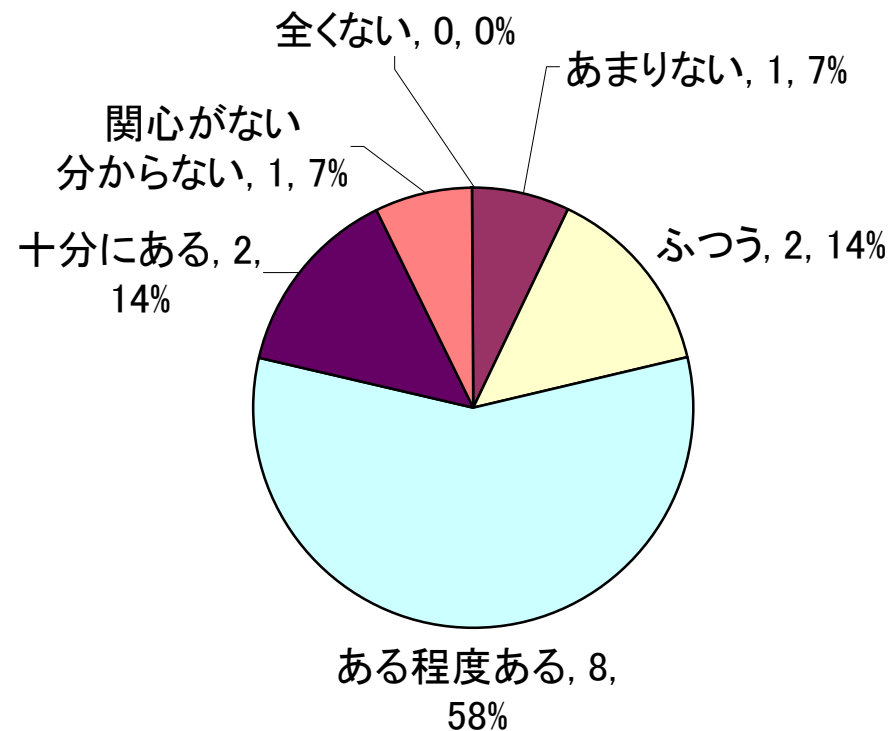


まずは学内全体での認識向上

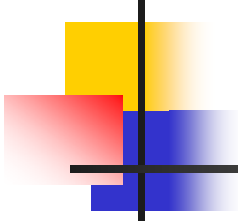
- 学内で輸出管理の担当を設置する
- 研究者に対して、
知財や著作権、安全管理、動物実験等の講習に、
輸出管理の基本的な説明会も実施する
- 学生へ、科学者倫理の教育において、
輸出管理を含めて実施する

輸出管理は負担になるのか？

貿易管理に時間を費やすことは、
研究活動に対して障害になると思われますか？



アンケートから、研究活動の生産性を低下させない管理手法が求められる

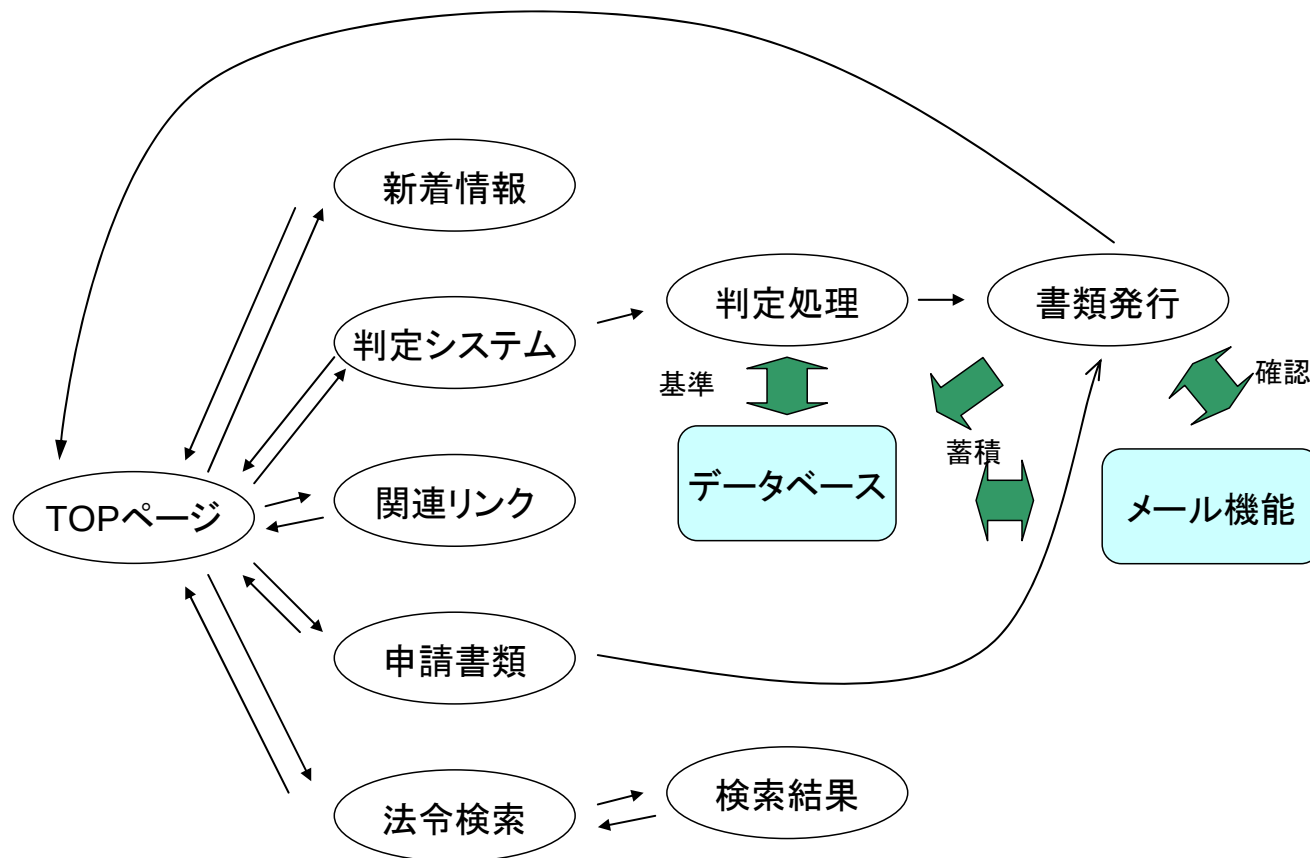


輸出管理情報システム

- 研究者へ負担をかけないことをコンセプト
 - ・Webを用いた輸出管理の情報提供
 - ・データベース、スクリーニングを提供

中央大学の鈴木寿先生の「ツールX」
スタンフォード大学のExport Control
を参考にしたシステムを基本とし、
法令改正による、懸念国やリストの変更にも対応できる
データベースとメール通達による輸出管理システム

輸出管理情報システム



要求定義書	
システム名称	輸出管理サポートシステム
システムの目的	学内における輸出管理のサポート
システムの機能	輸出管理判定システム SSLサポート データベース蓄積機能 自動メール送信機能 類似申請事例の検索
システムの構成	汎用WEBサーバー ApachなどのHTTPによるWEBサービス Perl言語によるスクリプト SSL証明書取得

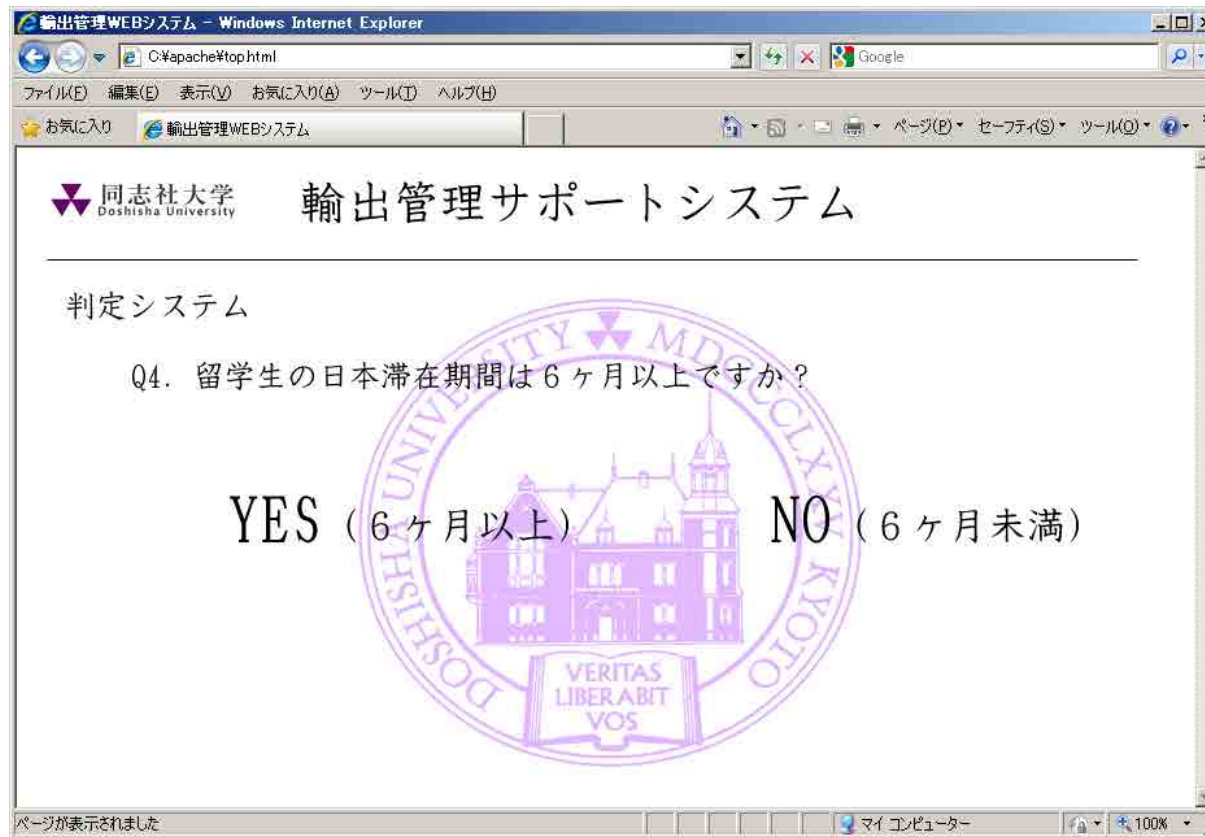
輸出管理情報システムの概要



学内、イントラネットからの
アクセスが可能

輸出管理のポータルサイト
法令や申請が可能となる

輸出管理情報システムの概要



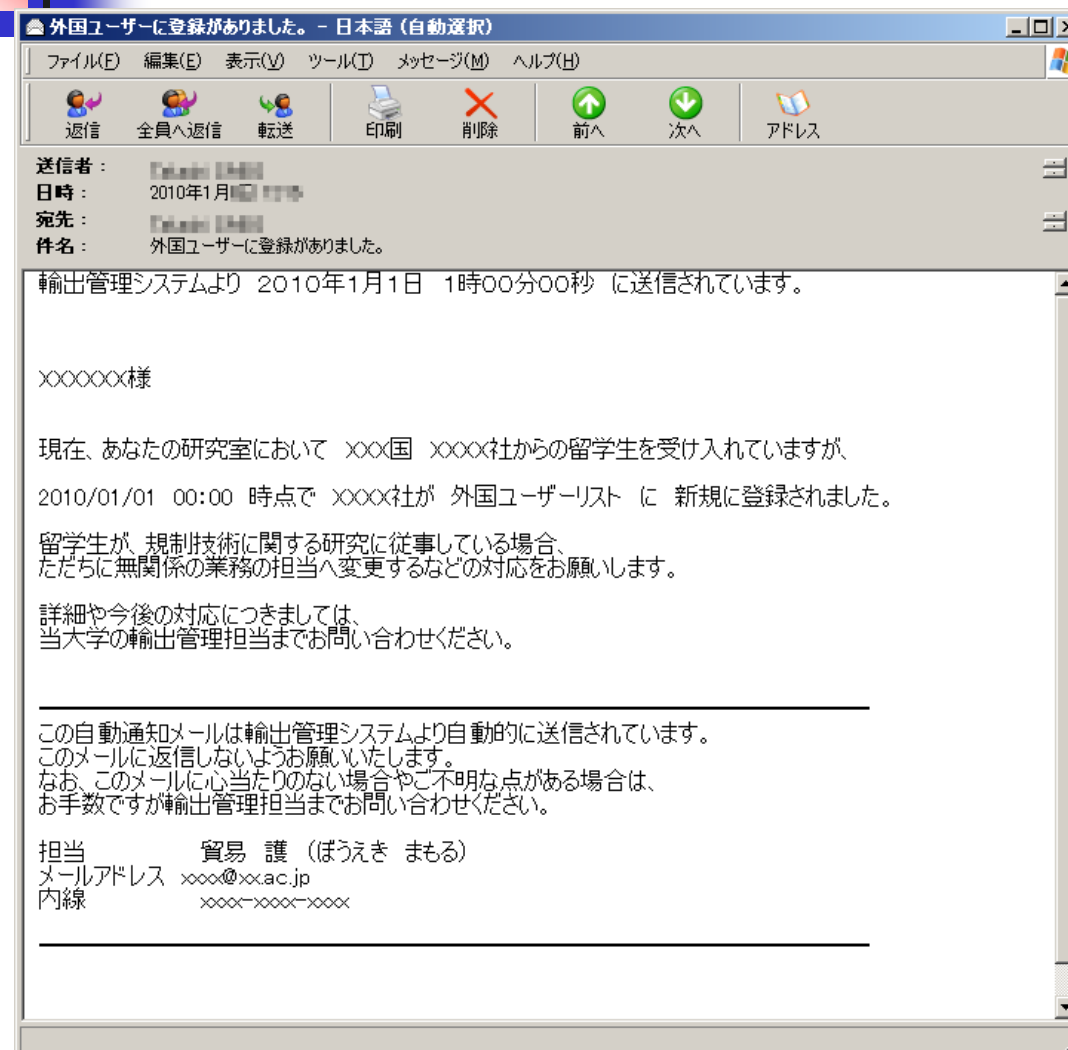
輸出管理の簡易的な判定が可能

判定できない難しいケースは、担当者への個別相談となる

キャッチオール規制など、技術の転用などの判定も担当者相談となる。

中央大学 鈴木先生の「ツールX」を参考に作成

輸出管理情報システムの概要

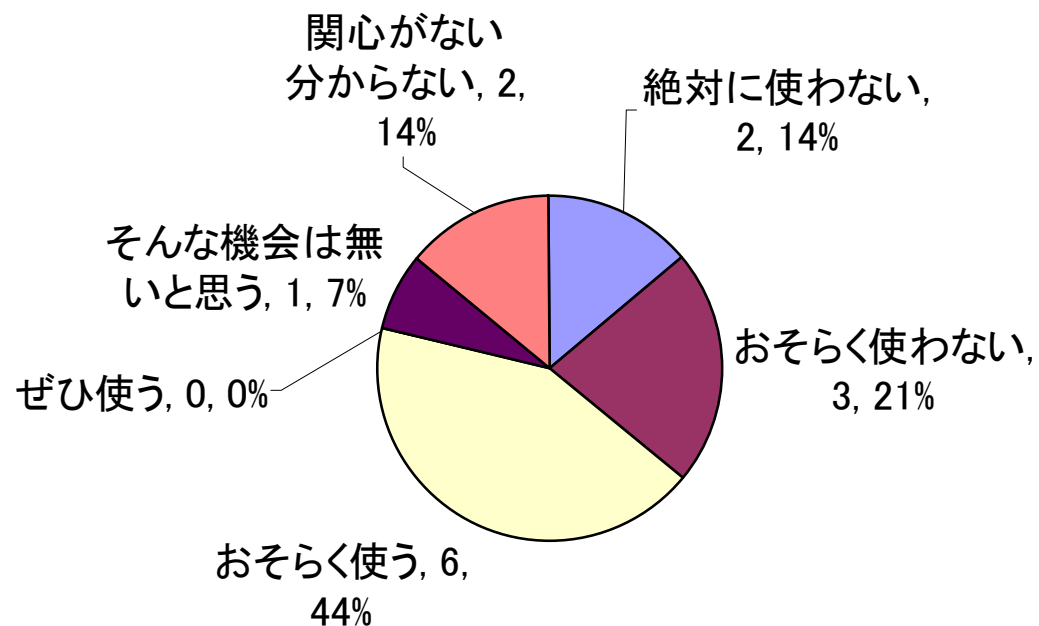


リスト規制のリスト改定や懸念国、懸念企業が追加されるなど、関係法令が変更された場合、

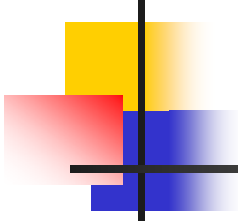
担当者が条件を変更すると
注意勧告メールを自動配信

支援ツールの可能性は？

輸出管理をIT技術で容易に確認できる業務支援ツールができれば、
活用されたいですか？

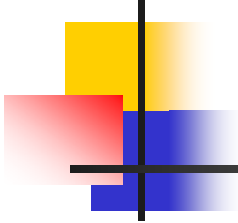


アンケートから、輸出管理システムの有効性が推測できる



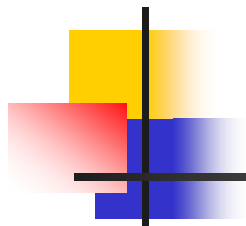
今後の検討課題

- わかりやすいインターフェースの開発
 - 輸出管理に馴染んでもらう
- セキュリティーの確保
 - 情報を狙う敵にとっては宝の地図である
- キャッチオール規制と研究データベースの対応
 - たとえば、化粧品が化学兵器になるなど、転用の可能性検討など、想像力に依存する部分はプログラムでは難しい



まとめ

- 輸出管理を導入する場合の状況把握として、同志社大学でアンケート調査を実施した
- 輸出管理への認識が低い傾向が見られた
- この状況下での輸出管理導入に向けた、
 - ・認知度を向上させる活動の提案
 - ・効率的に支援する情報システムの提案



ありがとうございました。